

平成28年度 自己表現検査 記述用紙

解答例と配点

受検番号		氏名	
------	--	----	--

※
100

※の欄には記入しないこと

【課題1】

(設問1)

※
54

問1

日本の河川は急流が多く、しかも短いため、降った雨がすぐに川の増水を引き起こす。また、季節風の影響で降水量の季節変化が大きく、梅雨や台風による集中豪雨にも見舞われるため、河況係数が大きくなる。

※
6

問2

霞堤を作ると、洪水で水かさが増える時には堤防の切れ目から上流側に水があふれてたまり、洪水が引く時はたまっていた水がゆっくり河川に戻る。すると、下流域では流量の変化がおだやかになり、最大流量も小さくなるので、洪水の被害が軽減される。

※
6

(設問2)

初期の湖沼は、水深が深く、水の栄養塩類も少ない状態である。一方、遷移が進んだ湖沼では、土砂やデトリタスが堆積して水深が浅くなるので貯水量が減少し、またデトリタスの分解により栄養塩類が増加して水質が悪化した状態になる。

※
8

(設問3)

I	滞らず事が進む様子。(先生が黒板に文字をさらさら書く。)	25	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> ※ 6 </div>
II	物が軽く触れ合う様子。(髪がさらさら障子に触れる。) (風によってさらさらと笹の葉が鳴る。)	25	
III	物に粘り気がない様子。 (ドライヤーで乾かした髪はさらさらしている。)	25	
IV	細かい粒子が落ちる様子(砂時計の砂がさらさら落ちる。)	25	

※
6

(設問4)

様子4点、文例2点

問1

250

匹

※
4

問2

- I 調査する集団の個体数が変化しないことに言及。(例：2度の捕獲の間に、個体の誕生や死亡、移出や移入がない。27字)
- II 標識が、動物の行動や生存率に影響しないことに言及。(例：標識された個体とそうでない個体で、行動や生存率の差がない。29字)
- III 標識が消失しないことに言及。(例：調査期間中に標識が消失しない。15字)
- IV 標本を無作為に抽出することに言及。(例：再捕獲時に、標識個体だけを選んで捕獲しない。22字)

※
5

※
5

(設問5)

2	7
---	---

順不同可、各4点ずつ

※
8

受検番号		氏名	
------	--	----	--

※の欄には記入しないこと

※
46

【課題2】

(設問1)

2

※
5

(設問2)

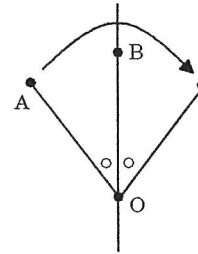
問1

10	通り
----	----

※
5

問2

1回目の裏返しによって、板にかいてある頂点の番号の順番は反対になり、2回目の裏返しで板にかいてある頂点の番号の順番は初期状態と同じになるので、板は点Oを中心として回転している。また、初めに点Aの位置にあった板の頂点は、1回目の裏返しでは移動せず、2回目の裏返しで直線OBに関して対称な位置に移動するから、板は点Aから点Bの方向に $2 \times \angle AOB$ だけ回転している。



※
10

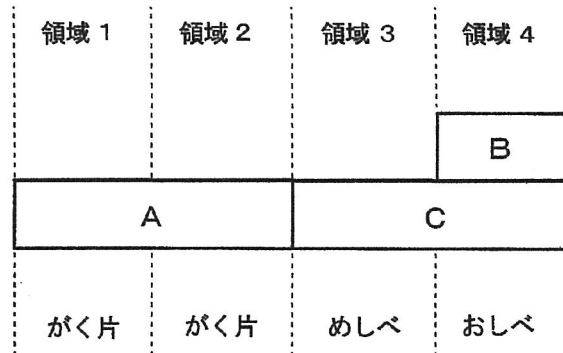
(設問3)

問1

(1)	おしべ
(2)	がく片(「がく」も正答)
(3)	めしべ

各2点ずつ

問2



完全正答5点

※
6

※
5

(設問4)

144	m
-----	---

※
5

(設問5)

For researchers,

_____ the _____ most _____ important _____ thing _____ is _____

_____ how _____ to _____ study _____ _____ _____

_____ _____ _____ _____ _____

because it leads to research in any fields.

※
10